

桂川町の平成23年度予算

先の国の示す予算編成にもありませんが、経済状況は、まだまだ厳しい状況ではありますが、本町の平成23年度一般会計の予算は対前年度比、11・9%増の51億9170万3千円と定めています。

歳入については、町税全体で、対前年度比で1・4%減となつていますが、地方交付税については、地方公共団体に交付される地方交付税の総額が前年度比2・8%増の、17兆3千7百億円であり、本町の普通交付税で前年度決定額の5・8%増の18億3875万円を見込んでいます。

町債では、対前年度比29・1%減の3億8052万7千円となつており、この大幅な減少は、臨時財政対策債が前年度に比べ2億1208万3千円の減額となつたことによるものです。

歳出については、これまでの町づくりの基本的な取り組みに加えて、新規事業に係る予算を計上しています。その主なものとしては、「総務費」で自治基本条例に関する研修会費等計上があります。

「民生費」では、「第3期障がい者福祉計画」及び「第5期高齢者福祉計画」の策定に係る関係費や、善来寺保育園の園舎改築に伴う補助金を計上しています。

「衛生費」では、これまでも癌の早期発見、早期治療を目的として各種検診を実施してきましたが、新たに前立腺癌検診を集団検診として実施していくための予算を計上しています。さらに、細菌性髄膜炎等の

予防対策として、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種を新たに実施していくための関係経費を計上しています。

「労働費」では、生活防衛のための緊急対策として措置された「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金」を財源とした、緊急雇用対策事業費を計上しています。

「農林水産業費」では、イノシシやシカ等の有害鳥獣による農林作物に対する被害が拡大しており、その対策として捕獲に対する報奨金等を計上しています。

「商工費」では、住宅投資の波及効果による地域経済の活性化や住宅の居住環境の質の向上を図ることを目的として、新たに住宅改修事業補助金を計上しています。

「土木費」では、桂川駅前広場の整備費を計上しています。

「消防費」では、地域の自主防災組織設立へ向け、その方策等を検討するための関係費を計上しています。

「教育費」では、桂川小学校の1、2年生において30人学級を導入する関係費の計上をしています。



おわりに

これからの桂川町の町づくりを進めていく上で大切なことは、住民の皆さまの生活に密着した課題に対しても、積極的に取り組んでいくことです。しかしながら、今日の国・地方の膨大な借入金、また、少子高齢化の進展による、社会保障関係費の自然増が国・地方の財政をさらに圧迫する要因になることが強く懸念されています。

今後とも、限られた財源で、最大の事業効果が得られるよう最善の努力を重ねていきます。

町制に対する町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。